

のびる

令和7年7月15日
真岡市教育委員会

生まれた時からあったもの

真岡市自然教育センター指導主事

北城 篤史 氏

はじめに

数分ほどのちょっとした待ち時間。自然と手がポケットに伸び、スマートフォン（以下「スマホ」）を取り出します。慣れた手つきでロックを解除し、SNSのアプリをタップ…。

特に目的もないのに、なんとなくスマホの画面を見てしまうといった経験はありませんか。

今や私たちの生活では、すっかり必需品となりつつあるスマホ。文字通りなんでもできてしま

うとても便利なツールです。そんなスマホと私たちはどのように付き合っていけばよいのでしょうか。また、子どもとスマホはどんな関係が適切なのでしょうか。少し考えてみましょう。

— 2007年

流行語は「どげんかせんといかん」そして「ハニカミ王子」。全国的に猛暑に見舞われた年でした。現在から数えると、18年前。

そんな2007年にある製品が発表されました。それは、米国アップル社の初代iPhoneです。今までの携帯電話という概念がガラッと変わり、小さなコンピュータを持ち歩けるようになったといっても過言ではありません。さて、「家庭教育」の視点でこの出来事を考えるとどうなるでしょうか。



真岡小 6年 児童

二 生まれた時から

日本において、スマホの普及率が5割を超えたのが2015年。2019年に8割を超えています。このことは、「一般家庭にスマホが普及した時期と今の小中学生が生まれた時期とがほぼ重なる」と言えるでしょう。

つまり、2025年現在の小中学生は、生まれた時からスマホが

身近にあった、と言えます。子育て真っ最中の時期に、スマホを購入したという方も少なくはないのではないのでしょうか。

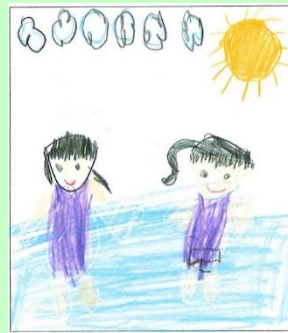
ではここで、一般的な日常風景を思い浮かべてみましょう。

朝のアラームはスマホから。食後の休憩時にスマホとにらめっこ。行列に並んでいるときもスマホ。病院の待合室でもスマホ。子どもの宿題見ながらスマホ。寝る直前までスマホ…。

生まれたときから、このような大人の姿を見て育った子どもは、私たちがどういう目で見ていますでしょうか。

そんな日常を子供の視点で描いた絵本「ママのスマホになリたい（作・絵…のぶみ）」を紹介しましょう。保育園に通う主人公。ママに自分を見てほしいのに、ママが見ているのはスマホの画面。そこでとった主人公の行動とは…？
もしかしたら、子どもとスマホとの関係より、大人とスマホの関係を考え直す必要があるのでは、

と思ってしまう。この絵本は、真岡市の図書館にもありますので、ぜひ、ご覧になってください。



真岡西小 1年 児童

三 あくまでもスマホは

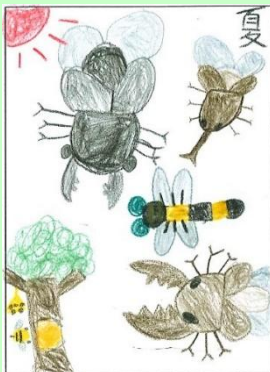
スマホは、とても便利な反面、多くのデメリットがあります。

スマホ依存症、健康被害、個人情報流出、不正アクセスの可能性や紛失時の危険など考えたらキリがありません。

それらの危険を十分踏まえた上で、子どもとスマホの適切な関係を考えてみましょう。

まずスマホは誰のものなのかを明確にします。「お年玉で買ったから俺のもの！」「親のお下がりだから、私のもの！」「これは、多くの子どもから聞くセリフです。「ゲーム」でも同じことが言えますね。ここで「スマホ(ゲーム)は大人の

もの。目的があつて子どもへ貸しているだけ。」という立場を明確にします。こうすることで、利用上のルールも立てやすくなるし、保護者として管理もしやすくなります。また、不適切な使い方をしていたときの対応もしやすくなります。スマホを自分のものだと思っている子どもは、「取り上げられた」と強く思い、かえって反発を抱く原因となるかもしれません。でも、スマホは大人のものと明確にしていれば、「貸しているスマホを返してもらった」となります。視点が変わるだけで、ちょっとだけ適切な関係になりそうな気がしますませんか？



亀山小 3年 児童

おわりに

日本も含めた先進国38国において、15歳以下を対象とした

「ICT利用についての調査」(2018年・経済協力開発機構)の結果のひとつを紹介します。

スマホの利用についての設問で、ほとんどの国が「学習のため」と回答したのに対し、日本は「余暇のため」と回答した割合がダントツだったそうです。

スマホは、たくさんの情報が手に入る上に、写真やファイルを持ち運べるデータベースともなります。まさに、自分自身の思いを具現化できるツールにもなり得ます。これからの時代を生き抜く子どもたちは、スマホの本当の便利さを正しく知り、上手に使いこなしていくスキルを磨かなくてはなりません。

そのために、大人が子どもの手本となるよう、少しでもスマホを置いて、自分とスマホの関わり方を見つめ直してみませんか。スマホの画面の先に、新たなお子様の姿が見えてくるかもしれません。

参考…モバイル社会白書

ママのスマホになりたい

こちらの家庭教育通信をお読みいただいた感想をお聞かせください！



真岡市では家庭教育について情報を発信しています！ご覧いただき、ぜひご活用ください。



ログイン不要で送信できるぴょん！

感想をお待ちしております♪

